

令和4年度シラバス（福祉）

学番56 新潟県立八海高等学校

教科（科目）	こころとからだの理解	単位数	3	学年（コース）	3学年（福祉コース）
使用教科書	実教出版『こころとからだの理解』				
副教材等	ミネルヴァ書房『介護職員初任者研修テキスト第3版』				

1 学習目標

自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得させ、介護実践に適切に活用できる能力を育てる。
介護従事者として必要な医学的基礎知識、健康と疾病及びこれらと環境との関係についての知識を習得する。

2 指導の重点

介護職員初任者研修修了を目指すことから、

- ①医学の正しい基礎知識の習得を目指します。
- ②健康と疾病及びこれらと環境との関係についての知識習得を目指します。

3 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	こころとからだの基礎的理解	教科書 副教材 プリント	こころのしくみの理解	適応のしくみ	11	提出物、授業態度
	人間の成長と発達の基礎的理解		発達とは 老年期の理解と日常生活	発達と老化の理解/人間の発達と発達課題 老年期の発達と成熟 加齢に伴う心身の変化の特徴 加齢に伴う心身の変化と日常生活への影響 高齢者の心理		
5	認知症の理解	教科書 副教材 プリント	認知症	認知症と取り巻く状況 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	11	中間考査
6				認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	11	
7				家族への支援	10	期末考査
8.9	障害の理解	教科書 副教材 プリント	障害	障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわりの支援等の理解	11	
10				家族の心理、かかわり支援の理解	11	中間考査

11	こころとからだのしくみと生活支援技術	教科書 副教材 プリント	生活支援	介護の基本的な考え方 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 生活と家事 快適な居住環境整備と介護 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	11		
12				11	期末考査		
1	医行為と包帯法	教科書 プリント	医行為 包帯法	医行為 包帯法	9	学年末考査	

4 課題・提出物

計 96 時間 (55分授業)

・単元ごとにまとめのレポートを課します。

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
こころのしくみに関心をもち、自分の体のこととして受け止め、自分自身のこころのメカニズムと働きを具体的にイメージできる。	子どもから大人に成長する過程で起こるさまざまな心の問題、悩みについて学び、どう理解し対処していけばいいのかを考えられる。	相手の気持ちを理解しながら、どのように動かせばいいのか、どのように食べたらいいのか、日常生活を送るために基本的な動作について直接的に援助できる。	こころの仕組みに関する基礎的な知識を身に付け、介護の意義や役割を理解している。

以上の観点を踏まえ、

- ・授業の取組 (授業態度、発表の様子、予習復習の取組状況等)
- ・提出物 (提出状況やその内容等)
- ・定期テスト

などから、総合的に評価します。

6 担当者から一言

他者を支援するためだけでなく、自分の健康や生活を支える上でも医学的な知識は必要不可欠です。難しい専門用語がたくさん出てきますが、ひとのこころとからだの仕組みを広く学びましょう。